

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成30年12月6日(2018.12.6)

【公表番号】特表2017-537983(P2017-537983A)

【公表日】平成29年12月21日(2017.12.21)

【年通号数】公開・登録公報2017-049

【出願番号】特願2017-550461(P2017-550461)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/047 (2006.01)

A 6 1 K 47/10 (2006.01)

A 6 1 K 47/32 (2006.01)

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

A 6 1 K 9/06 (2006.01)

A 6 1 P 1/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/047

A 6 1 K 47/10

A 6 1 K 47/32

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 9/06

A 6 1 P 1/02

【手続補正書】

【提出日】平成30年10月29日(2018.10.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

粘膜付着性製剤であって、

(i) 粘膜付着性ポリマーを有する、水を封入可能なクラスレートホスト、または (i)
i) 粘膜付着性ポリマー、及び水を封入可能なクラスレートホスト、のいずれかと、

75%より低い濃度の遊離水と、

前記製剤中の前記遊離水の濃度の少なくとも25%かつ前記製剤の少なくとも10%の
濃度の C₄ - C₆ 糖アルコールと、

を有し、前記製剤中における前記粘膜付着性ポリマー及びクラスレートホストの量は、前
記製剤が口腔粘膜に適用される場合に in situ で前記 C₄ - C₆ 糖アルコールを保持
するのに十分な量である、製剤。

【請求項 2】

請求項 1 記載の粘膜付着性製剤において、前記 C₄ - C₆ 糖アルコールはキシリトール
である、粘膜付着性製剤。

【請求項 3】

請求項 2 記載の粘膜付着性製剤において、前記クラスレートホストは前記粘膜付着性ポ
リマーを有する、粘膜付着性製剤。

【請求項 4】

請求項 3 記載の粘膜付着性製剤において、前記粘膜付着性ポリマーはポリアクリレート
であり、前記クラスレートホストはグリセリンと前記ポリアクリレートとを有する、粘膜

付着性製剤。

【請求項 5】

請求項 2 記載の粘膜付着性製剤において、前記キシリトールの濃度は前記製剤中の前記遊離水の濃度の少なくとも 50 %である、粘膜付着性製剤。

【請求項 6】

請求項 2 記載の粘膜付着性製剤において、前記キシリトールの濃度は前記製剤中の前記遊離水の濃度と少なくとも等しい、粘膜付着性製剤。

【請求項 7】

請求項 2 記載の粘膜付着性製剤において、前記キシリトールの濃度は前記製剤の 35 % より高い、粘膜付着性製剤。

【請求項 8】

請求項 2 記載の粘膜付着性製剤において、前記クラスレートホストと前記キシリトールとの相対濃度 $w/w\%$ は 1 : 1 ~ 1 : 10 である、粘膜付着性製剤。

【請求項 9】

請求項 1 記載の粘膜付着製剤であって、糖アルコール以外にはアルコールを含まない、粘膜付着性製剤。

【請求項 10】

請求項 2 記載の粘膜付着性製剤において、前記キシリトールは前記粘膜付着性製剤中の全成分のうち、最も高い濃度の成分である、粘膜付着性製剤。

【請求項 11】

請求項 2 記載の粘膜付着性製剤であって、さらに、グリセリンを有する、粘膜付着性製剤。

【請求項 12】

請求項 11 記載の粘膜付着性製剤において、前記グリセリンの濃度は前記製剤中の前記キシリトールの濃度の半分より低い、粘膜付着性製剤。

【請求項 13】

請求項 1 記載の粘膜付着性製剤であって、液体、または半固体である、粘膜付着性製剤。

【請求項 14】

請求項 13 記載の粘膜付着性製剤において、前記粘膜付着性製剤が液体の場合、前記液体はマウスリンスまたはマウススプレーであり、前記粘膜付着性製剤が半固体の場合、前記半固体はゲルまたはペーストである、粘膜付着性製剤。

【請求項 15】

請求項 4 記載の粘膜付着性製剤であって、さらに、グリセリンと、前記クラスレートホストの一部であるグリセリンとを有する、粘膜付着性製剤。

【請求項 16】

請求項 15 記載の粘膜付着性製剤において、前記製剤中の前記キシリトールの濃度は前記製剤中の前記遊離水の濃度の少なくとも 80 %である、粘膜付着性製剤。

【請求項 17】

請求項 16 記載の粘膜付着性製剤において、前記キシリトールの濃度は前記製剤の 35 % より高い、粘膜付着性製剤。

【請求項 18】

口腔粘膜を湿潤させる方法であって、請求項 1 ~ 17 のいずれか記載の粘膜付着性製剤を口腔粘膜に適用する工程を有する、方法。

【請求項 19】

口腔粘膜に前記 C₄ - C₆ 糖アルコールを提供する方法であって、請求項 1 ~ 17 のいずれか記載の粘膜付着性製剤を口腔粘膜に適用する工程を有する、方法。

【請求項 20】

口腔粘膜に前記キシリトールを提供する方法であって、請求項 2 ~ 17 のいずれか記載の粘膜付着性製剤を口腔粘膜に適用する工程を有する、方法。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１５】

S . m u t a n s の増殖を阻害するのに十分高い濃度でキシリトールを含有する口腔ケア製品であって、キシリトールが口腔中でS . m u t a n s の増殖を阻害するのに十分な時間にわたり、口腔中また特に口腔粘膜上でキシリトールの濃度を維持する製品への顕著な需要が存在する。

この出願の発明に関連する先行技術文献情報としては、以下のものがある（国際出願日以降国際段階で引用された文献及び他国に国内移行した際に引用された文献を含む）。

（先行技術文献）（特許文献）（特許文献１） 米国特許第 8 , 6 5 8 , 1 3 9 号明細書（特許文献２） 米国特許出願公開第 2 0 1 4 / 0 3 0 5 4 6 1 号明細書（特許文献３） 米国特許出願公開第 2 0 1 3 / 0 2 9 5 0 4 1 号明細書（特許文献４） 米国特許第 5 , 9 0 0 , 2 3 0 号明細書（特許文献５） 米国特許第 3 , 9 7 0 , 7 4 7 号明細書（非特許文献）

（非特許文献１） A S H L A N D . I n n o v a t i v e I n g r e d i e n t s f o r O r a l C a r e . B r o c h u r e . P g s . 1 - 1 2 , 2 0 1 3 [r e t r i e v e d o n 1 1 J a n u a r y 2 0 1 6] . R e t r i e v e d f r o m t h e I n t e r n e t < U R L : h t t p : / / w w w . a s h l a n d . c o m / A s h l a n d / S t a t i c / D o c u m e n t s / A S I / P e r s o n a l % 2 0 C a r e / P C - 1 2 0 5 6 _ O r a l _ C a r e _ B r o c h u r e . p d f > .